



冠動脈 CT 予約について



循環器内科 科長
関口 芳輝

平成 25 年 11 月より当院に 320 列 CT が導入されました。多列化により検査時間が大幅に短縮され、冠動脈 CT においては 1 心拍でも検査が可能です。寝台を動かすことなくスキャンするためアーチファクトが少なく画質も向上されました。被ばく線量に関しても 64 列 CT の 1/4 と大きく低減されています。当院でもこの高性能を活かし、冠動脈疾患の早期発見を通じて地域医療への貢献につなげたいと考えております。

スムーズな診療を行うため冠動脈 CT 依頼票（診療情報提供書）をご用意いたしました。検査を希望される際には依頼票を FAX にてお送り致しますので、まずは地域連携室（TEL245-2626）までご連絡下さい。



イベント情報

- 12月7日（土）1階待合ホールにて、ボランティアグループ「四ツ葉の会」主催の「クリスマスのつどい」が開催されました。

弥生児童館の生徒による「なぞなぞコーナー」や金沢大学附属小学校弦楽合奏部による「クリスマスソング等の演奏」「バトンの演技」が行われました。



- 12月13日（金）4階ロビーにて4階東病棟主催の「クリスマス会」が開催されました。クリスマスツリー作りや、当院看護師によるバイオリン伴奏のクリスマスソングの演奏や落語が披露されました。



- 12月20日（金）3階講堂にて若草幼稚園の年長、年中 29 人の園児による慰問があり、患者や看護師ら約 30 人の前で歌と演奏が披露されました。園児は、マラカスやカスタネットで「トルコ行進曲」を合奏した後、「わらのねどこ」などクリスマスにちなんだ賛美歌 3 曲を元気に歌ってくれました。



金沢市立病院 地域連携室

TEL:245-2626 FAX:245-2693
お問い合わせ・ご予約などお気軽にご連絡ください。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/36001/byouin/index.jsp>

編集後記

今回は金沢市の姉妹都市フランスのナンシー市に興味を持つきっかけになりました。時間とお金に余裕があれば（←ここ重要笑）、是非1度は行ってみたいものです。冠動脈 CT 依頼票も出来上がりだったので、是非ご利用宜しく願いいたします。



スクラム

scrum



フランス・ナンシー市を訪れて 臨床研修医、医学生国際交流事業の推進



病院事業管理者
(兼) 病院長
高田 重男

新年、明けましておめでとうございます。本年も、ご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

昨年、9月27日より10月3日まで「金沢・ナンシー姉妹都市提携40周年記念金沢市代表団」の一員として、フランス ナンシー市を訪問しましたので、その報告をさせていただきます。

訪問までの経緯ですが、昨年7月にナンシー市ロシノ市長を団長とした代表団が金沢市を訪問されました。その際、ロシノ市長とお話をする機会を得ました。「医学生・研修医の交流事業」を提案いたしましたところご賛同いただき、9月に予定されておりました「ナンシー市訪問金沢市代表団」への参加を要請されました。このように、速やかにお受けいただいたのは、金沢市医師会とナンシー市医師会の交流が長く行われ、相互の信頼関係が醸成されていたことによるものと思っております。

ナンシー市では40周年記念行事へ参加した後、ロレーヌ大学 Centre Hospitalier Universitaire de Nancy (CHU Nancy) を訪問しました。CHU Nancy は1,600床を有する病院であり、日本の基準からすると非常に大規模な病院でした。フランスの医療制度においては、各地方に急性期医療を担う大きな病院が1つ（主に公的病院）と、“かかりつけ医”（家庭医）が連携するかたちとなっており、CHU Nancy においても”地域の急性期入院患者を一手に引き受ける”役割を担っていることによるものと思われまます。日本では、病院の機能分化が最大の課題として取り上げられていますが、非常に考えさせられる制度でした。

CHU Nancy では、多くの診療施設及び医学部のシミュレーション教育施設等の見学をさせていただきました。見学の傍ら、研修医の交流の話し合いも行い、ロシノ市長の強力なバックアップもありまして「金沢市立病院からは2名の初期臨床研修医がCHU Nancyへ、CHU Nancyから2名の医学生を金沢市立病院へ、毎年1ヶ月間派遣する」ことが決まりました。また、両市の協定書においても、若手医師の交流が明記されました。

日本に戻り、早速、初期臨床研修プログラム2年目に1ヶ月間の海外研修を加えました。若手医師が、短期間でも海外の医療を経験することは将来のキャリアアップにつながる重要な教育手段と考えています。また、フランスの医学生の日本での教育は、市立病院内だけでなく、登録医の先生、大学病院等のご協力もお願いし、幅広く行っていきたいと考えておりますので、先生方のご協力よろしくお願い申し上げます。



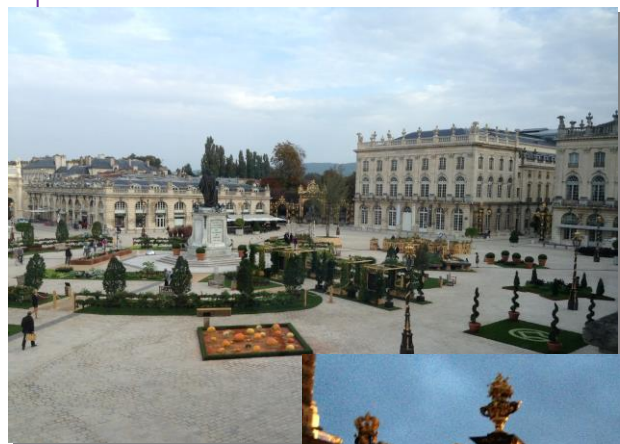


CHU Nancy との交流が始まります

みなさんフランス・ナンシーをご存知ですか。どこかで聞いたような…、聞いたことのないような…、どうでしょうか？

ナンシーは古くはロレーヌ公国の首都として栄えたアルザス・ロレーヌ地方の中心都市です。パリから TGV で2時間弱の距離でありながら、フランス旅行へ行った際であったとしても、中々訪れる機会は少ない街かもしれません。その街を昨年秋に機会をいただき、高田 院長に同行し、「金沢・ナンシー姉妹都市提携 40 周年記念金沢市代表团」の一員として訪問しました。

ナンシーの顔ともいえるスタニスラス広場は 18 世紀中頃当時の時代を表したロココ建築の建物群に取り囲まれ、豪華な金と黒が対比した装飾的な門と噴水にも彩られています。パリやモンサンミッシェル、南仏といった観光名所ではありませんが、世界遺産にも登録されており、ミシュラン3つ星の兼六園にも負けず劣らずといったところでしょうか。



その1世紀後の 19 世紀末には、アール・ヌーヴォーもこの町で花開きました。日本でも人気の高い植物や昆虫などを装飾モチーフに取り入れたエミール・ガレやドーム兄弟のガラス工芸などが美術館にコレクションされています。食の点からは、ロレーヌ地方名物のキッシュ・ロレーヌや、日本でもよく見かけるパリ風マカロンと少し異なるスール・マカロンも美味。

そんなナンシーと金沢の間にはこれまでに行政・文化・芸術・スポーツなど様々な面での友好交流が培われ、信頼関係が築かれています。私達代表团も大変な歓迎をうけ、“40 周年記念セレモニー”や同時に開催された“日本ウィークエンド”への参加、書道コンクールの審査、日本でも観劇したことのない能楽鑑賞などを経験させていただきました。

ところで、今回の訪仏はセレモニーに参加することが主ではなく、ロレーヌ大学 Centre Hospitalier Universitaire de Nancy (CHU Nancy)を訪問し、これまでの両都市間の交流をさらに医療面でも厚みを増していく、その土台作りが目的でした。日本のように初診で総合病院に掛かることはできない医療制度のフランスでは、総合病院は専門的な医療に集中・大規模化してその医療レベルを保証する施策をとっています。



消化器内科 科長

辻 宏和

CHU Nancy も総合病院として 1600 床、スタッフ 10,000 人、年間予算 6 億ユーロ（金沢市一般会計の半分強に相当）の威容を誇っていますが、こちらでナンシー市助役、臨床系・基礎系教授、大学副事務局長等との会議を高田 院長に陪席して行い、2014 年度からの「金沢市立病院—CHU Nancy 間 医学生・研修医交換研修」について合意しました。

フランスは、国民皆保険制度、医師の自由開業制、患者がどの医師を選んでも良いという選択自由の仕組み、費用は公的な基準に基づく対価支払い、といった日本にきわめて近い医療制度を持つ国です。その一方で医薬分業以外にも検査も独立しているなど分業が更に徹底していること、病院での支払いは初めに患者が全て全額支払った後に患者自身が手続をして償還されること、「かかりつけ医」の紹介状なしでの専門医受診は医療費が償還されないこと、などシステムとして異なった点もあります。

市立病院の研修医達には、若いうちから日本以外での医療現場を体験することによって国際感覚を得たり、違いを知ることで日本の医療制度に対する見識を深めることができるのではないかと大きく期待しています。またフランスの医学生・研修医にも日本の医療や文化を深く知ってもらいたく、皆様のご協力ご指導を是非よろしくお願いいたします。



減塩運動の推進と減塩コーディネーター育成事業

今年度、「減塩運動の推進と減塩コーディネーター育成事業」が石川県高度・専門医療人材養成支援事業へ採択され、現在、事業を行っているところです。

高田 重男・高桑 浩（高血圧協会石川県支部）、洞庭 賢一（石川県臨床内科医会）、井上 好美（石川県栄養士会病院栄養士協議会）、掛場 清美（石川県栄養士会）これら 5 名が中心メンバーとして活動しております。

本事業は、石川県全体として減塩運動を推進するために「生活習慣病予防のための減塩の必要性を理解し、減塩の知識・そのコツ・具体的な方法を広く普及させる意志と能力を有する」減塩コーディネーターを養成、特に多職種の医療職の方々に減塩コーディネーターとなっていただくことを目的としています。また、石川県においては地元新鮮な食材が数多く存在し、それらを生かした石川県独自の減塩レシピの作成と普及といったことも行っております。

金沢及び能登地区においては、既に減塩についての多職種の医療職に対する講演会を開催いたしました。平成 26 年 2 月には加賀地区においても同様の講演会を予定しています。また、平成 26 年 3 月には「高血圧と減塩」について、市民公開講座を開催も予定しております。具体的な日程が決まりましたら改めてご連絡いたしますので、よろしくお願いいたします。



腎臓内科 科長

(兼) 地域連携室長

高桑 浩